

精密工学会国際賞 第5回 (2005年度)

受賞者 業績概要

受賞者： 稲葉 清右衛門 氏

ファナック株式会社名誉会長 工学博士

【 業績概要 】

工作機械の歴史の中で、NC工作機械の発明と普及は、工作機械の長い歴史から見ても画期的なできごとでありました。1952年に米国で最初のNCフライス盤が完成して以来、日本でも1958年には、実用機としてファナックのNC装置を搭載したNCフライス盤が完成しています。

初期のNC工作機械は、機械要素、NC装置の不完全さから、調整に2～3カ月を要するものがありましたが、新しいものを取り入れようとする工作機械メーカー、何とか使いこなしてみたいというユーザに支えられ、更に、稲葉 清右衛門氏による機構の簡単な電気・油圧パルスモータの発明によって普及したといっても過言ではありません。

稲葉 清右衛門氏は、永年にわたり、NCシステムの開発とFAの普及を図り、精密自動加工技術分野の発展に多大の貢献をされました。特に、ファナックのNCシステム技術の開発においては、陣頭指揮にあたり、その開発成果に基づくNCシステム技術は、NC工作機械、産業用ロボット等の多方面において広く利用されており、優れた自動化システム技術の一つとして国際的に高い評価を得ています。